

新農業水利システム保全整備事業 なが はま なん ぶ 長浜南部地区

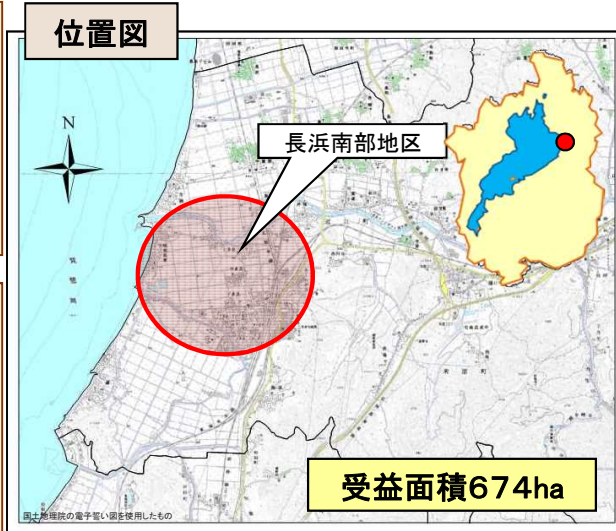
地区概要

所在地：長浜市・米原市
 主要工事：水管理施設更新 1式
 総事業費：556百万円
 (国:50% 県:25%)
 工期：平成18年度～
 成22年度

事業目的

造成後20年以上経過して、老朽化が進み、制御関連機器類の修理が困難な状況となっている水管理施設を再整備し、安定的に用水を供給する。

位置図



事業の効果

・維持管理費の節減

制御方式を変更したことで、分水工の自動操作が可能となり、末端水管理に係る労力の省力化が図れた。



* 水管理施設管理者と揚水量の節減 *

末端水管理		
事業前(H17)	完了時(H23)	現在(H28)
3人	2人	1~2人

揚水量		
事業前(H17)	完了時(H23)	現在(H28)
8,556千m ³	7,841千m ³	6,849千m ³
100.0%	91.6%	80.0%
約20%減		

水稻1反当たりの使用水量 [参考値]

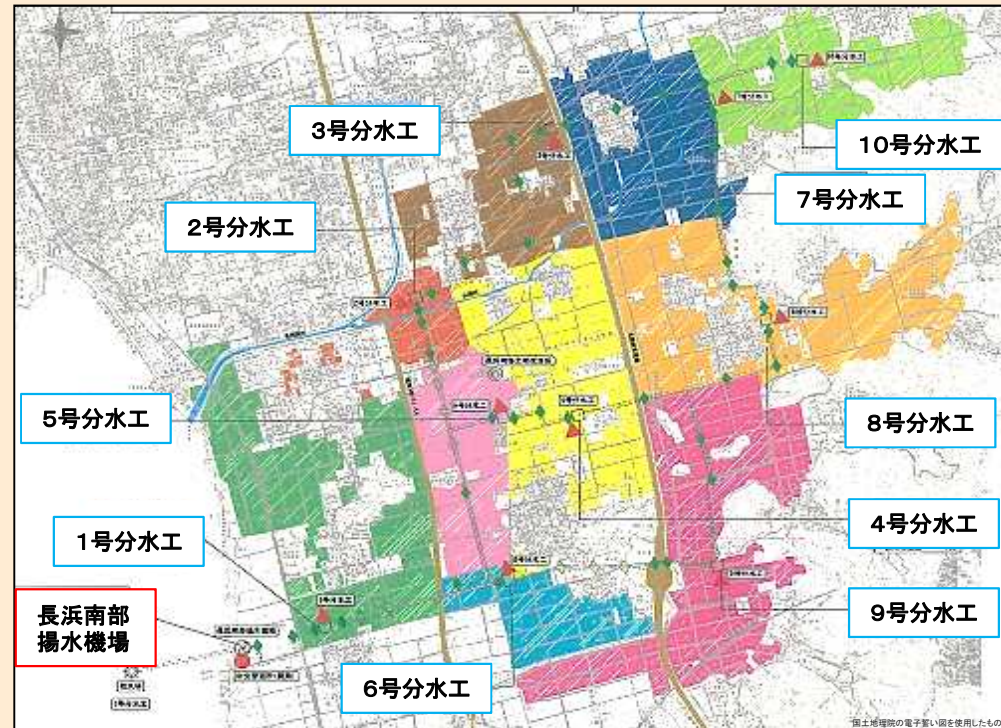
事業前(H21)	完了時(H23)	現在(H28)
16.88千m ³ /ha	16.11千m ³ /ha	14.86千m ³ /ha

[参考値算出式]
 水稻一反当たりの使用水量 = 受益面積 × (1 - 転作率)

事業実施状況

水管理システムをの制御方式を変更し、適切な水量を供給することが可能となることで、安定した用水の供給と揚水量の節減を図った。

システムの監視制御装置を設置することで、揚水機場の運転状況の把握を容易となり、施設管理にかかる労力の省力化を図った。



受益者等の意見

制御方式を変更したことで、分水工の自動操作が可能となり、末端水管理が省力化できた。
 さらに各施設を一体的に管理することで、無駄のない適切な水配分が行えている。

今後の課題

用水路についても耐用年数が迫り、一部では漏水事故が発生していることから、更新整備が必要となっている。